

## 合格体験記

IIBA®日本支部 BA 研究部会 BABOK-WG メンバー  
佐々木 一仁

※特定の教材に偏った学習方法を記載しておりますが、あくまで私個人のやり方である点をご留意の上、ご参考いただければと思います。

### 1 全体のスケジュール

07/08	CCBA&CBAP 説明会
07/25	出願申請
08/12	試験勉強開始
08/19	出願申請合格通知(“CCBA Application Assessment Results”メール)
11/08	試験案内(“CCBA Admission Letter”メール)
11/26	CCBA 日本語試験
12/30	試験合格通知(“CCBA Recipient Package Coming Soon”メール)

### 2 出願申請

出願申請にあたり、出願者自身の英語レベルが大きな問題となる。

IIBA 本部の Web サイトからすべて英語での申請であり、英語が苦手な出願者にとってはかなりの労力が必要である。

私の場合、事前に日本語で業務経歴を整理できていたとはいえ、すべて英語に翻訳することが非常につらく(経歴の概要でよいので、それほど高度な英語レベルは問われていないが…)、途中で挫折しかかりながら、なんとか半日かかりで入力した。

### 3 受験勉強

<使用教材>

- ① CBAP/CCBA ビジネスアナリシス認定 スタディガイド』(上)(下) ※以下、『スタディガイド』と表記
  - 上巻→8/10 刊行、下巻→9/30 刊行
  - 文章がわかりやすく、よくまとまっているため、『BABOK ガイド Version2.0』を直接読むより理解しやすい
  - 『BABOK ガイド Version2.0』の記述内容を要約しているだけでなく、ビジネスアナリストとしてどのようなことを意識しなければならないのかという観点でも記述されているため、試験勉強以外でも使える→私の場合、BABOK-WG のワークショップにも持ち歩いていた(『BABOK ガイド』は持ち歩くには大きすぎるため)

- ② BABOK ガイド Version2.0 ※以下、『BABOK ガイド』と表記  
➤ ほとんど読まなかった(『BABOK ガイド』でどのように記述されているかを調べる程度)

<学習時間・方法>

- ① 『スタディガイド』上下巻をそれぞれ 2 回ずつ読み込んだ
- 通読(1 回目):20 時間 + 熟読(2 回目):30 時間 ※目安
  - 学習期間:3 ヶ月半→通読するだけでも時間がかかるので、十分な勉強期間の確保が必要である
- ② 各知識エリアや各タスクの全体像や流れを理解するためにマトリクス(表)を作成・整理した
- 『スタディガイド』で個別論点ばかりやっていると、全体がだんだん見えなくなってくる
  - 『スタディガイド』下巻の巻末資料を参考にした(全体の理解度をチェックする際にも、巻末資料はかなり使える)
  - タスク(要素、テクニック)、インプット(インプットを作成するタスク)、アウトプット(アウトプットを使用するタスク)の関係を整理した→タスクのインプットとアウトプットを特定するだけでなく、そのインプット・アウトプットを作成・使用するタスクは何かまで明確にする
  - 「要求の状態」(表明された、承認された、割り当てられた、検証された など)がどのように遷移するか(どのタスクで変更されるのか)を理解するため、状態遷移図を作成した→どこにも参考になる資料がなかったので、自分でインプットとアウトプットを追っかけて、「要求の状態」を線でつなぎ合わせることを実施した
- ③ 『スタディガイド』の学習ポイント
- 「試験攻略のポイント」(『スタディガイド』の中に枠囲みになっている項目)を意識して学習した
  - 「ビジネスアナリストに不可欠なものと定義されている」テクニックを中心に学習した
  - アウトプットの作成が多いタスク、使用されるタスクが多い成果物を中心に学習した→タスクや成果物が多いということは、重要度が高く、その分、出題確率も高いはずと判断した
  - 熟読時(2 回目)の達成割合  
各章末の「復習テスト(20 問)」→9 割  
巻末(下巻末)の「CCBA の練習問題 100」→8 割  
巻末(下巻末)の「CBAP の練習問題 100」→7 割
  - 試験勉強以外にも、『スタディガイド』を WG のワークショップや実務で使ってみることに  
より、暗記だけに頼らずに済み、記憶として定着しやすい

## 4 受験本番

<会場>

- ① 富士ゼロックス総合教育研究所(FXLI)の研修ルームであった
- ② 衣類(フード付き禁止)、持ち込み(筆記用具、飲み物、貴重品、ハンカチ持ち込み禁止)の制約が多い
  - 一般的なプロメトリックなどの CBT においても、持ち込みの制約があるが、衣類まで制約があったのは想定外であった
  - 当日、フード付きのパーカーであったため、T シャツでの受験となってしまった(試験会場の室温は比較的暖かかったので、不都合はなかった)

#### <問題>

- ① BABOK ガイド』の知識をそのまま問う問題が多かった(特に、後半)
- ② ビジネスアナリストとして理解しなければならないこと、意識しなければならないことを問う問題が大半であり、『スタディガイド』をしっかり勉強していれば問題なかった。したがって、一般的に、それほど難易度は高くなかった
- ③ 問題文や選択肢が英語、日本語が併記であったため、日本語の意味がわかりにくいところは、念のため英語も見直すことができたのは大きかった(といっても、私の英語レベルが高いわけではないので、該当箇所しか判断できなかったが…)
- ④ 主要な用語については、細かい定義まで問われている問題もあり、『BABOK ガイド』を読み込んでいなければ正解を導き出せなかった
- ⑤ マークシートの紙質と鉛筆付属の消しゴムの質が悪く、きれいに修正できなかった。そのため、修正したマークを正しく機械が読み取ってくれるのか不安であった

#### <時間>

- ① 150 問 3 時間半(210 分)→1 問あたり 1.4 分(1 分 24 秒)
- ② マークシート試験に慣れていれば、対策は明確であるが、念のため、記載しておく
  - 基本的に 1 分以内に回答する→それほど難易度が高くないので、一部を除き実現可能なはず
  - できるだけ早く(15 秒以内)で回答する→余裕時間が生まれる。中には 5 秒で回答できる問題もあるはず
  - 1 分半以上かかりそうだと判断したら、次へ進む(選択肢の目星だけ付けておく)→すべてが完了してから、ゆっくり取り掛かれればよい
- ③ 上記の条件を守れば、十分な時間的余裕がある
  - 私の場合、一通り回答するのに 2 時間(120 分)で完了した
  - 後回し問題が 15 問程度あったので、30 分くらいかけてゆっくり見直した
  - 全体で 150 分(2 時間半)、1 時間余らせて完了した

以上